



新年のご挨拶

岡本堅吾、6回めの年男、72歳になります。

さるは去り、とりが来とります。「コケコッコ、夜が明けた！まんま炊け、しる炊け、お茶わかせ！」小学生の頃、流行ったこの言葉、今さらです。すが深みを感じます。

年男の決意！人を和ませ、笑わせて、明るくて、声が大きくて、大飯喰らいで、大酒飲みで、人生を皆とともに幸せに生きる。人の良いところを見つけて誉める。どんな人でも認めて小さなところまで気づけりし、本人も本人の家族も知らないところまで良いトコ探しをする。その人の良いところを見つけたら下心なく尊敬し、初めて会った人を一生の友にしてしまおう。相手が年上でも年下でも、うどん屋でも駄菓子屋でも、美人であろうとなかろうと、誰であれ、明るく親しく接し、永遠の友だちになる。どこに行っても知らない人にもあっさり声をかけ仲良くなれる。それがしぜんにできる年男になるぞ！

(コスモスグループ 代表 岡本 堅吾)

皆さん、新年明けましておめでとーございませう！毎年時間が過ぎるのが加速していくようで、今年もあつという間に過ぎていくことでしょう。昨年は何ごとも楽しんで取り組むことを抱負としましたが、今年は少し大人ぶって(?)、自分自身をしっかり見つめる一年にします。皆さんの参考にもなればと思うので、少し難しいですが、仏教の教えにある、「六波羅蜜(ろくはらみつ)」を紹介いたします。この六つの修行をきちんと行なえば、極楽に行けるそうです(笑)

1 布施(ふせ) 見返りを求めず、利他の心で他人を思いやる。自分の欲を抑え、物だけでなく心を与えること。

2 持戒(じかい) 人としてやってはならないことをしない。ルールを守る、足るを知る

3 忍辱(にんにく) どんなに辛くて苦しいことでも耐え忍ぶことで、生かされていることを実感し、感謝の心が生まれる。

4 精進(しょうじん) 限りある時間(人生)を大切に、いつでも一生懸命がんばること。

5 禅定(ぜんじょう) 一日一度、短い時間でいいので、自分自身を見つめること。

6 智慧(ちえ) 私たちが本来授かって生まれた智慧は、愚痴や怒り、欲望で曇り、その力を発揮できません。自分自身に素晴らしい力があることを知って毎日を過ごしましょう。

どれも大切だと思いますが、言葉が難しくすつと頭に入りにくいですね。最近5の毎日少しの反省がどれほど大切かを実感します。本当に今日一日できる限りの力を出し切ったでしょうか？最後にNHKK研修で使っている詩をご紹介します。

『カシコギ／趙昌仁』
あなたがむなしく過こした、今日という日は、昨日死んでいったものが、あれほど生きたいと願った明日

(岡本 慶大)





恭賀新年 平成29年、皇紀2677年の年明けを、心よりお祝いいたします。年頭に際し、皆さま方そして皆さま方とご縁ある全ての方々のご健康とご多幸を、心より厚く祈念申し上げます。本年も何卒、旧に倍する御好誼の程を、伏してお願い申し上げます。

さて、日常業務におけるトラブルの大きな原因として、“聞き違い”があります。特に同じ五十音で発生する言葉には注意が必要と言われています。例えば私が実際に遭遇したのが、理髪店で「モミアゲをどうしますか？」との問いに、『長めに』と発声したつもりが、“斜めに”切りそろえられ、いまだ流行らないテクノカットにされてしまったという苦い経験があります。私たちの業務で云えば、同じ「し」から始まる“しょうゆ”と“しお”が危険デス。店内の雑音の中では、「しお4杯！」が、「しょうゆ4杯」にも聞こえています。特に、お客さまの前で復唱せずにオーダーを通すとミスすることが多いもの。そこで、聞き違いや言い違いのケーススタディーを社内で募ったところ、なぜかネタと思えるような笑い話ばかりが集まって来てしまいましたので、以下に書き置くこととします。今回はどうか、肩の力を抜いて読み流してください。

◆第1話◆ この春短大を卒業した新入社員のFさん。約半年ぶりに会いましたが、仕事を覚えて自信が付きはじめた様子が目に留まりました。そこには、彼女の上司である管理職の素晴らしい社内教育の成果が出ていますと感じました。そんな上司と彼女とを見比べながら、私は「もう一人前ですネ♪」と言うと、その上司は私に対し、「本当にどこを出しても、恥ずかしくないなあ♪」と話されました。彼女は、生暖かい目で上司を見つめていました。大変良くできた部下です。

◆第2話◆ 会社への架電を受けた新入社員Fさん。上司宛の電話だったようで、「すみませんけど、斎藤課長はいま外出中です♪」と答えたので、すかさず、「斎藤はおりませんって、呼び捨てでいいんだから！」と彼女に先輩社員が諭しました。ところがその後再び、斎藤課長を呼び立てる電話が入り、新人Fさんは張り切って、「斎藤ですね、少々お待ちください」と言って保留ボタンを押したままでは良かったのですが、『斎藤～♪、〇〇さんから電話で一す♪』と叫んでいました。敬語が解らない平成生まれも、遂にここまで来ています。

◆第3話◆ 採用面接は、組織に馴染む人材か、或いは人罪かを洗い出す大切な試験です。そんな採用面接の中で、「家業はなんなのですか？」との問いかけに対して、「カキケコです♪。」と答えた者がいたそうです。ホンマかいな(笑)。

◆第4話◆ 結婚した元部下から年賀状が来たのですが、そこには、「性が変わりました」と書いてありました。性と姓。確かに間違っています。

◆第5話◆ なぜか、UNKO(ウ●コ)という文字が書かれたマフラーをなびかせて、さっそうと出社してきた長身モデル体型の女性社員。その文字配列を指摘すると、おもむろに外したマフラーには、「JUNKO」というデザイナーのロゴネームが描かれていました。Jが隠れただけで意味が変わります。これからの季節、特に文字入りのストールやマフラーは、結び目に注意です。

◆第6話◆ 同じく文字ネタ。どこの工場でもさまざまなフレーズを貼っていますが、その工場では、「自分がやらなきゃ、誰がやる」という標語のサインプレートがありました。しかし良く見ると、「誰が」の「が」の点が削られて、「自分がやらなきゃ、誰かやる」となっていました。これも改善活動の一環なのか、謎は深まるばかりです。

◆第7話◆ いつもは仲の良いご夫婦。夫婦ゲンカするとき、ご主人が奥さまに対して、「バカモン！」と言うのを間違えて、「バケモン！」と怒鳴ってしまいました。結果、ケンカは益々エスカレートしたと言います。

◆第8話◆ 手打ちそば屋さんで、母は田舎蕎麦を、そして私は鴨セイロをオーダーしました。間もなくキャストさんが配膳にやってきて、「田舎はどちらですか？」と聞くと、母はとっさに、「はい、熊本です」と答えてしまいました。

◆第9話◆ 長年付き合っていた彼氏からフラれて落ち込んでいる娘。最後はお互い深く傷付け合ってしまった模様。娘をなぐさめようとして、「おまえ、人間は顔じゃないぞ」と言うところを、「お前、人間の顔じゃないぞ！」と言い間違いをやってしまい、修正しようとしたところ、「お前、顔が人間じゃないぞ！」となってしまう、それ以来、どうも娘の様子がおかしくなっていました。

◆第10話◆ 社内忘年会で、同期同士が論争中にエスカレートしてきて、今にも掴み掛かりそうな勢いで、論争では無く口論となっていました。しかし、一方のイケメン社員が、「だいたい、初めて会った時からおまえの顔見るだけで、おれはムラムラするったい！」と叫び、しかも誤りには一向に気付いておらず、そのため彼は忘年会で性癖をカミングアウトした・人と違った趣味がある残念な男などと、その後女性社員の間で話が拡がりました。

如何でしょう。社内会議で、“これでは採算が取れない”と言うべきところを、真顔で「これでは山菜が獲れない」と言い間違え、それに気付いて慌てふためく上司って、どこか可愛いものです。誤りは誤りとして素直に受け入れ、決して無理に取り繕わないことです。今年もご愛読の程をお願いいたします!(^_^)!

(株式会社システムコンストラクション 清野 秀道)

【発行】リズム食品株式会社

〒802-0081
北九州市小倉北区紺屋町13番1号 毎日西部会館7F
TEL:093-531-1120 FAX:093-533-0122
E-mail : news@rhythm-food.co.jp

こんにちは赤ちゃん♥

一麺亭京泊店のキャスト
松村 彩夏さんにお子さんが生まれました。

名前は、初花(いちか)ちゃん。可愛い可愛い女の子です♪



桜吹雪が風に舞う 11月19・20・26・27日 東大和店周年祭

今回は1杯あたりの価格を500円と、周年祭としてはやや高めの金額に設定。過去に例のない販売期間、価格設定ただけに予算を立てる上で難しい部分はありました。結果は、目標人数を多く下回ってしまう客数ではありましたが、1組1組のお客さまに対しての接客の質を高く意識することができ、今後に対しての手ごたえを確かに感じる事ができました。又、1週めから2週めに向けて、告知を工夫・改善することで、結果的に1回毎にわずかながら右肩上がりの結果にできたことはひとつ嬉しいことではありました。最終日には、キャストさんが中心となって立派に営業してくれ、チームとしての成長も感じ、「今後につなげる周年祭」という目標においては大いに得るものがありました。今後の桜吹雪の飛躍にご期待ください!

(桜吹雪が風に舞う東大和店 店長 武田 竜太)



風風ラーメン 11月19・20日 和光店周年祭

豚骨とバリ黒豚骨を390円で販売し、2日間で計1025杯と満足の数字ではありませんでした。それでもヘルプやお手伝いに来ていただいた方々にはとても感謝する周年祭でした。目標の『笑顔でお見送りをすること』はできていたように感じます。人数も多くなったので、オペレーションなどは良かったです。また来年もパートナーの店舗で周年祭をやる店舗があるので、その時には力になりたいと思います。今後も和光店がさらに爆発できるようキャスト全員でがんばっていききたいと思います。

(風風ラーメン和光店 店長 鶴岡 透)



風風ラーメン 11月22・23日 西川口店周年祭

西川口店にとっては久々であり、スタッフにとっては、初めての周年祭となりました。周年祭当日は、ラーメン5種類を300円で販売しました。初日392名412杯、2日め524名538杯と本当にたくさんのお客さまにご来店していただきました。とくに、ご年配のご夫婦やご家族でのご来店が多く、普段はご来店されないお客さまが多数見られました。今回、準備から当日まで、スタッフといっしょにひとつのことに向かっていく一体感を実感し、もっとスタッフ一人ひとりをよく観て、長所を伸ばしてあげたい。と強く思いました。それが、スタッフにとっても、お店にとっても、自分にとっても良い方向に行くと願い、日々精進して参ります。

(風風ラーメン西川口店 店長 星川 将大)



新年のご挨拶と抱負

明けましておめでとうございませう！
毎年恒例ではございますが、各部署リーダーより、
新年のご挨拶、抱負をいただきましたので、ご紹介いたします。

FCサポート本部 マネージャー

宮原 尚之さん

今年の私のモットーは、「温故知新」。
以前習ったことや経験をしっかりと習熟して、新しいことを知ることで少しでも縁のある方の役に立てるようにします。また、悩むより考える、考えるより行動する。仕事はもちろんです。が、ぼっこりお腹が気になるので、動きます！走りまわります！減量します！行動無くて変化なし！店舗の皆さんが安心して営業できるフオローをします。

FCサポート本部 マネージャー

三宅 威能さん

新年明けましておめでとうございませう。本年もオーナーさま、店舗の皆さま、お客さまの喜び作りにつながるご提案をします。周年祭支援をはじめとし、一人ひとりのキャストさんのモチベーションアップと、お店がチームとして一丸となり、ひとつの目標に向かって前進できるように後押しをします。

また、SNSを有効活用し、皆さまの活き活きとした姿を発信していきます。そしてNHKK研修・店長教育を行ない、スキルアップとともによりコミュニケーションを深めて参ります。商品・販促・新規事業に前向きにチャレンジし皆さまの元気な営業を本部一丸となり

サポートしていきます。本年もよろしくお願いたします。

商品開発本部 サブマネージャー

西村 直之さん

昨年は、商品開発での一年めということとでたくさんの方々のご支援・ご協力と商品のご提案をすることができました。今年からは自ら動き、より良い新商品の提案、既存商品のブラッシュアップをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

一麺亭 マネージャー

石川 敏さん

昨年は、人員不足でさまざまな行動が思い通りにいかず、とても苦戦した年でした。今年の一歩の目標は、いっしょに働く仲間を増やし仲間の笑顔を増やすことです。そしてさまざまな行動の中で、目的は何なのかを忘れず意識して行動していきます。(もちろん、新規出店も！)

Factory's(工場) サブマネージャー

馬場 圭佑さん

早いもので、自社工場が稼動して四年以上となります。現状設備上の問題もあり、なかなか新アイテムの供給まで至っておりません。本年中には改修工事の



風風ラーメン 11月15・16日 平田店周年祭

今回は段取り不足から、目標杯数に届かず悔しい気持ちでいっぱいですがキャストの皆さん、またヘルプに来てくれた方、皆楽しそうに一致団結して営業ができて、周年祭を無事に終えることができました。当日は新規のお客さまが多くみられ、その中でも高校生の比率がとても多かったです。Twitterで周年祭を知ったお客さまがいらっしやることに驚きました。キャスト一人ひとりいつも以上に笑顔が多くみられ、活気もあり良い雰囲気での営業だったのではないかと思います。また僕自身キャストの知らなかった長所が見つかり見えていない部分があったので、その長所などもっとのばせるような環境作りをしていきたいです。今回得たもの、今後につなげていきたいと思っております。



(風風ラーメン平田店 店長 三島 恭輔)

施を予定しておりますので、設備も整えより皆さまにより満足いただける商品の開発、製造、供給ができるよう、商品開発西村サブマネージャーとも連動し、努めて参ります。今年工場にとつて変化の年！攻めの年！になるよう、何ごともチャレンジ精神で走ります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

管理本部 部長

西村 英朗さん

四年です！「申酉騒ぐ」という言葉もあるとおり、昨年に続きいろいろなことが起こるかもしれません。社員ひとりひとりが一丸となり、今年こそはチキンと(きちゃん)一つ一つの仕事をを行い、良い業績を、とりたいたいと思っております。(笑)

